

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【公表番号】特表2013-502983(P2013-502983A)

【公表日】平成25年1月31日(2013.1.31)

【年通号数】公開・登録公報2013-005

【出願番号】特願2012-526840(P2012-526840)

【国際特許分類】

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 27/00

A 6 1 F 13/00 3 0 1 G

A 6 1 F 13/00 3 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

創傷部位を治療すべく減圧を用いる上皮再形成用医療材料において、

前記創傷部位に近接配置される湿性の組織界面層であって、第1の面と、第2の組織対向面とを具え、当該湿性の組織界面層を通して複数の孔が形成されており、水分バランスを提供する湿性の組織界面層と、

第1の面と第2の組織対向面とを具え、減圧を分配するマニホールド部材と、

第1の面と第2の組織対向面とを具える密閉部材とを具え、

前記マニホールド部材が前記密閉部材と前記湿性の組織界面層との間に配置されていることを特徴とする上皮再形成用医療材料。

【請求項2】

請求項1に記載の上皮再形成用医療材料において、

前記複数の孔が、水分が増加していくと、開位置から制限位置へと移行し、

前記制限位置では、前記複数の孔は液体を通すが気体の通過を制限することを特徴とする上皮再形成用医療材料。

【請求項3】

請求項1に記載の上皮再形成用医療材料において、

前記湿性の組織界面層が、ヒドロゲル層を含むことを特徴とする上皮再形成用医療材料。

【請求項4】

請求項1に記載の上皮再形成用医療材料において、

前記湿性の組織界面層が、浸水コロイド層を含むことを特徴とする上皮再形成用医療材料。

【請求項5】

請求項1に記載の上皮再形成用医療材料において、

前記湿性の組織界面層が、ヒドロゲル浸漬発泡体層を含むことを特徴とする上皮再形成用医療材料。

**【請求項 6】**

請求項 1 に記載の上皮再形成用医療材料において、

さらに、第 1 の面と第 2 の組織対向面とを具える支持層を具え、当該支持層の第 2 の組織対向面が、前記湿性の組織界面層の第 1 の面に近接配置されることを特徴とする上皮再形成用医療材料。

**【請求項 7】**

請求項 1 に記載の上皮再形成用医療材料において、

さらに、第 1 の面と第 2 の組織対向面とを具える支持層を具え、当該支持層の第 2 の組織対向面が、前記湿性の組織界面層の第 1 の面に結合されていることを特徴とする上皮再形成用医療材料。

**【請求項 8】**

請求項 1 に記載の上皮再形成用医療材料において、

さらに、前記マニホールド部材と密閉部材の間に配置された吸収層を具えることを特徴とする上皮再形成用医療材料。

**【請求項 9】**

請求項 1 に記載の上皮再形成用医療材料において、

さらに、第 1 の面と第 2 の組織対向面とを具える支持層であって、前記第 2 の組織対向面が、前記湿性の組織界面層の第 1 の面に近接配置されている支持層と、

前記マニホールド部材の第 1 の面と、前記密閉部材の第 2 の組織対向面との間に配置された吸収層を具えることを特徴とする上皮再形成用医療材料。

**【請求項 10】**

請求項 1 に記載の上皮再形成用医療材料において、

前記湿性の組織界面層の第 2 の組織対向面が前記創傷に近接配置され、

前記マニホールドの第 2 の組織対向面が、前記湿性の組織明き面相の第 1 の面に近接配置され、

前記密閉部材の第 2 の組織対向面が、前記マニホールド部材の第 1 の面に近接配置され、

前記湿性の組織界面層の複数の孔は、中央が少なくとも 1 mm 離れていることを特徴とする上皮再形成用医療材料。

**【請求項 11】**

創傷の上皮再形成を促進するためのシステムにおいて、当該システムが、創傷の上皮再形成用医療材料を具え、当該創傷の上皮再形成用医療材料が、

前記創傷に近接配置される湿性の組織界面層であって、第 1 の面と、第 2 の組織対向面とを具え、当該湿性の組織界面層を通して複数の孔が形成されており、水分バランスを提供する湿性の組織界面層と、

第 1 の面と第 2 の組織対向面とを具え、減圧を分配するマニホールド部材と、

第 1 の面と第 2 の組織対向面とを具える密閉部材とを具え、

前記マニホールド部材が前記密閉部材と前記湿性の組織界面層との間に配置されており、前記マニホールド部材に流体結合された減圧源を具えることを特徴とするシステム。

**【請求項 12】**

請求項 11 に記載のシステムにおいて、

前記複数の孔が、水分が増加していくと、開位置から制限位置へと移行し、

前記制限位置では、前記複数の孔は液体を通すが気体の通過を制限することを特徴とするシステム。

**【請求項 13】**

請求項 11 に記載のシステムにおいて、

前記湿性の組織界面層が、ヒドロゲル層を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 14】**

請求項 11 に記載のシステムにおいて、

前記湿性の組織界面層が、浸水コロイド層を含むことを特徴とするシステム。

**【請求項 15】**

請求項 1 1 に記載のシステムにおいて、

前記湿性の組織界面層が、ヒドロゲル浸漬発泡体層を含むことを特徴とするシステム。

【請求項 1 6】

請求項 1 1 に記載のシステムにおいて、

さらに、第 1 の面と第 2 の組織対向面とを具える支持層を具え、当該支持層の第 2 の組織対向面が、前記湿性の組織界面層の第 1 の面に近接配置されることを特徴とするシステム。

【請求項 1 7】

請求項 1 1 に記載のシステムにおいて、

さらに、第 1 の面と第 2 の組織対向面とを具える支持層を具え、当該支持層の第 2 の組織対向面が、前記湿性の組織界面層の第 1 の面に結合されていることを特徴とするシステム。

【請求項 1 8】

請求項 1 1 に記載のシステムにおいて、

さらに、前記マニホールド部材と密閉部材の間に配置された吸収層を具えることを特徴とするシステム。

【請求項 1 9】

請求項 1 1 に記載のシステムにおいて、

さらに、第 1 の面と第 2 の組織対向面とを具える支持層であって、前記第 2 の組織対向面が、前記湿性の組織界面層の第 1 の面に近接配置されている支持層と、

前記マニホールド部材の第 1 の面と、前記密閉部材の第 2 の組織対向面との間に配置された吸収層を具えることを特徴とするシステム。